



CRF 150F用 ビッグキャブレターキット (VM26)

取扱説明書

商品番号 : 03 05 333
 適応車種 : CRF150F(KPT)
 適応年式 : '02 ~ '05モデル

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
 この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
 商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
 他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
 当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
 補修部品につきましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。
 キャブレターは、天候・湿度・気温・標高や気圧等、自然現象及び車体差、キャブレター個体差等によりセッティングを変更する必要があります。
 個々のエンジン、条件に合ったセッティングを行って下さい。

! **注意** 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時35 (エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

! **警告** 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

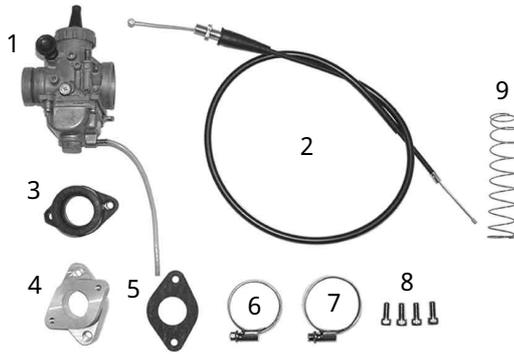
性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
 クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

キャブレターの初期セッティング

メインジェット	# 190
パイロットジェット	# 22.5
ジェットニードル	5E75
クリップポジション	3段目
スロットルバルブカッターウェイ	# 1.5
エアスクリーューオープニング	1 / 4回転戻し

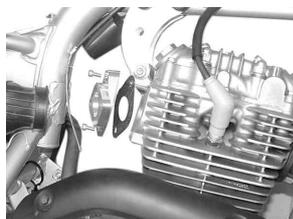
~ 商 品 内 容 ~



番号	商品内容	数量
1	キャブレター本体 (VM26)	1
2	スロットルケーブル	1
3	インシュレーター	1
4	インレットパイプ	1
5	ガスケット	1
6	ホースクランプ (30 ~ 45 mm用)	1
7	ホースクランプ (32 ~ 50 mm用)	1
8	ソケットキャップスクリュー 6 × 15	4
9	スロットルバルブスプリング	1

~ 取 り 付 け 要 領 ~

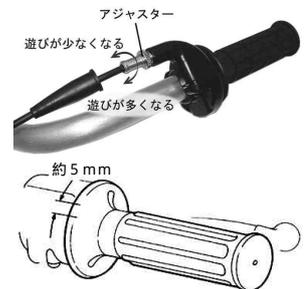
1. 水平で安全な場所で、メンテナンススタンド等を用いて車両を安定させます。
2. フュ - エルコックを閉じて、キャブレターのドレンコックを開き、フロートチャンバー内のガソリンを受け皿に抜き取ってから、フュ - エルホースの接続を、キャブレター側から外します。
3. シートとフュ - エルタンクを車両から取り外します。
4. キャブレタートップを外し、スロットルバルブをスロットルケーブルごと、キャブレター本体より取り外します。
5. スロットルバルブとスロットルケーブル及びキャブレタートップを分離します。
6. スロットルケーブルをキット付属の物に交換するため、スロットルグリップハウジングのスクリュー2本を取り外し、スロットルグリップハウジングから、現在付いているスロットルケーブルを取り外し、車両よりケーブルを外します。
この時、スロットルケーブルの取り回しや、グリップの取り付け角度を記録しておく事をお勧めします。
7. キット付属のスロットルケーブルを、スロットルハウジングに取り付け、純正ケーブルと同様に取り回しておきます。
8. キャブレターとエアクリーナーを接続しているクランプを緩め、現在付いているキャブレターを、インレットパイプごと取り外します。
インテークポート内に異物等が入らない様に注意して下さい。
9. シリンダーヘッドとインレットパイプの間に、インレットパイプガスケットを挟み、インレットパイプをキット付属のソケットキャップスクリューで締め付けます。
ガスケットには表裏があります。間違えるとポート穴位置が合いませんので、ご注意ください。
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



10. インレットパイプにインシュレーターをソケットキャップスクリュー2本を用いて締め付けます。
トルク：10N・m (1.0kgf・m)
11. キットのキャブレターのトップカバーを外して、スプリングとスロットルバルブを抜き取ります。
スロットルケーブルをキャブレターに付いているラバー製のケーブルキャップに通してから、インナーケーブルをキャブレターのトップカバーから通し、さらにスプリングを通して、スプリングを締めながらスロットルバルブに取り付けます。
必ず付属のスロットルスプリングに交換して下さい。
12. スロットルバルブの切り欠き部をスロットルトップスクリューに合わせて、キャブレターに取り付けます。
13. キャブレターのエアクリーナーBOX側をまず先に差し込み、ホースクランプ (32 ~ 50 mm) で締め付けます。
差し込みが硬いので、入りにくい場合は、マイナスドライバー等を用いて差し込んで下さい。また、クランプはなるべくキャブレターに近い位置で締め付けて下さい。
14. 次にキャブレターをインシュレーターに差し込み、ホースクランプ (30 ~ 45 mm) で締め付けます。



15. スロットルグリップ部で5mm程度の遊びが出来るように、スロットルケーブルのアジャスターを調整します。調整後はラバー製のアジャスターカバーをアジャスター部に被せて下さい。



16. スロットルを数回スナップさせ、引っかかりやスロットルバルブの全開状態を確認します。ステアリングを左右一杯に切った状態でもスロットルに遊びがあることを確認して下さい。
17. フュ - エルタンクを車体に取り付け、フュ - エルホースをキャブレターに接続します。フュ - エルコックを開いて各部からのガソリンの漏れの有無を確認します。(コックを開いたまま長時間放置しないで下さい。)
18. エアクリーナーBOXの上面のリストリクターを取り外します。
取り付けただけですと、ビッグキャブレターの性能が発揮されません。
19. シートを元通り取り付けます。
20. チョークレバーを引き、エンジンを始動させます。
チョークレバーを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転を行い、チョークレバーを完全に戻します。
エンジン暖機後アイドル回転しない場合や、アイドル回転が高すぎる場合は、スロットルストップスクリューで調整します。
21. 安全な場所で十分注意し、個々に合ったセッティングを行って下さい。



警 告

本製品付属のMIKUNI VM26キャブレターについて、出荷時VM26キャブレターにはオンロード用標準スロットルバルブスプリングが組み込まれています。

スロットルワイヤー接続の際、付属のオフロード用強化スロットルバルブスプリングに必ず組み替えて下さい。

強化スロットルバルブスプリングは、スロットルやスロットルワイヤー、スロットルバルブ等への泥や砂の付着によるスロットルの閉鎖不良を緩和する為の部品です。

ただし、汚れによりスロットルの戻りが悪くなる事を完全に防ぐ事は出来ませんので必ず走行前に各部を点検し、走行中に異変を感じたらすぐに停車して下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

キャブレターセッティング要領

- ・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの2つの原因に絞られます。
- ・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
<ul style="list-style-type: none">・爆発音が重い感じで断続する。・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。・クリーナーを外すと調子が良くなる。・排気ガスが濃い。(黒い)・プラグが黒くくすぶる。	<ul style="list-style-type: none">・エンジンがオーバーヒート気味になる。・チョークを作動すると、調子が良くなる。・加速が悪い。(息付きをおこす)・回転変動があり、力がない。・プラグが白く焼ける。

キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

ジェットニードル (スロットル開度 1 / 4 3 / 4)

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか

- ・息付きをする場合、濃くして下さい。
- ・回転の上がりが高く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。

この開度での混合比は、Eリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Eリング位置が1段目から5段目へ下がるにつれ混合気は濃くなります。



メインジェット (スロットル開度 3 / 4 4 / 4)

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。仕様等を考慮の上、最高回転数(最高速度)の得られる物を選んで下さい。

パイロットジェット (調整前にはまずエアスクリューを調整して下さい。)

- ・エアスクリューの戻し量 3 .0 回転以上の場合、パイロットジェットを小さくして下さい。
- ・エアスクリューが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
- ・パイロットジェットはアイドルリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
- ・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。(アイドル回転時)
- ・排気濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。(アイドル回転時)
- ・パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。(アイドルリング時)

- ・エアスクリューを右に回す 混合気が濃くなる。
- ・エアスクリューを左に回す 混合気が薄くなる。

標準戻し回転数(1.5回転)に合わせ、左右に1 / 4 1 / 2 回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

- ・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
- ・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
- ・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。